

東海学連発 023 の第 28  
2023 年 6 月 18 日

関係者各位

東海学生陸上競技連盟  
会長 國枝 秀世  
( 公 印 省 略 )

## 秩父宮賜杯第 76 回西日本学生陸上競技対校選手権大会

### 終了のご挨拶

拝啓 梅雨の候、貴殿におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、6月16日（金）から6月18日（日）に岐阜メモリアルセンター長良川陸上競技場に、西日本の4地区学連に所属する約1500名の学生アスリートが参加して行われました標記大会は、全日好天に恵まれ無事終了することができました。本大会は、2020年に東海地区での開催を計画しておりましたが、感染症下に入ってから、昨年の中国四国地区（愛媛）開催までの2年間は中止扱いとなっており、学生アスリートにとっては、まさに時代に左右された世代でもあります。本年は、行動制限が緩和されたのを機に、スタジアム内の各所では、集団応援をする学生たちの姿が見られ、学生陸上競技の再燃が伝わってくる大会となりました。対校結果は、福岡大学が男子は2回連続、女子は4回連続で総合優勝を果たしました。大会最優秀選手は、男子は砲丸投で17m44の大会新記録で優勝したアツオビン・ジェイソン選手（福岡大3）、女子は800mで2分6秒37の大会新記録で優勝した長谷川麻央選手（京都教育大2）が選出されました。また、男子800mで東秀太選手（広島経済大2）、前出のアツオビン・ジェイソン選手（福岡大3）、長谷川麻央選手（京都教育大2）らが大会新記録を更新するなど、盛況のうちに終了することができました。

本大会が無事終了いたしましたのも、偏に皆様のご支援、ご協力の賜物であります。今後とも御指導、御鞭撻の程、よろしくお願い致します。なお、競技記録の詳細は添付資料の通りでございますので申し添えます。

末筆になりますが、貴殿の一層のご発展をお祈り申し上げます。

敬具

本大会は、2023年度岐阜県スポーツ振興まちづくり補助金交付対象事業です。